

平成25年度測位航法学会 事業計画

●ニューズレターの発行

ためになる記事、学会にまつわる諸事を満載したニューズレターを年4回（6月・9月・12月・3月）発行する。当学会がネット上にて公開している最新学術論文の目次も収録する。今年度4回発行予定。ニューズレター編集委員長 峰 正弥氏（SPAC）

●インターネット論文集の公開

会員の原著論文を広く集め、論文審査委員会にて審査をパスした論文を論文集として、J-STAGE を通じ、インターネット上で公開する。最新の測位・航法の研究について知ることができる。論文審査委員長 長岡 栄氏（電子航法研）、幹事 宮野智行氏（都立航空高専）

●総会

全国大会では会員による本学会の運営を決定するための総会を同時に開催する。総会では事業報告/決算報告/事業計画/収支予算/適宜必要な議題について方針決定を行う。25年度は4月18日、東京海洋大学品川キャンパス白鷹館にて開催。

●全国大会の開催（春季）

会員が日ごろの研究活動成果を全国大会の研究発表会で発表し、質疑応答など直接意見の交換を行うことができる。25年度は4月17・18・19日に、東京海洋大学品川キャンパス白鷹館にて開催。19日の研究発表会は26件の発表。実行委員長 樊 春明氏（東京海洋大学）

●若手の育成（セミナーの開催）

若手向けのセミナーを開催し、積極的に若手を育成し研究の裾野の拡大を目標とします。24年度は全国大会に合わせてセミナー①GPS 測位の理論（講師：西修二郎氏）、セミナー②GNSSソフトウェア受信機の理論と実際（講師：久保信明氏）を4月17・18日に実施。国際サマー・セミナーの開催（8月19日～24日）、GNSS 教育システム研究部会（仮称）で対応。

●シンポジウムの開催（秋季）

会員だけでなく一般の人をも対象としたシンポジウムを年一回秋に開催し、大学、研究所、企業、学生、会員以外の一般からも測位・航法の関連研究論文を広く集め、研究成果の発表・討論・情報交換の場を設けます。また測位航法に関連した企業の機器展示会を併催し、最新の企業商品・サービス情報を得られる場を設けます。25年度は10月29・30・31日に開催予定。秋季研究発表会は31日を予定。ロボットカーコンテストは11月1日（土）実施予定。

●G 空間EXPO の協力

（25年度11月14日～16日、於：日本科学未来館）広報戦略部会（仮称）で対応。

●測位・航法に関する図書、印刷物の出版

外国で出版された優れた測位・航法関連書籍の翻訳を行い出版します。また測位・航法に関連する図書を出版します。今年度（サマーセミナーの資料出版を検討）

●日本学術会議協力学術団体申請

日本学術会議から学術団体としての認定を受け、同会議を通して、我が国の学術政策への提言者となる。一次審査通過。二次審査結果4月末通知予定。

●部会の新設予定（広域補強技術研究部会・広報戦略部会・GNSS 教育システム研究部会）